

【草花の部屋】

セントランサス(オミナエシ科セントランサス属 Centranthus)

和名: ベニカノコソウ(紅鹿子草) **別名**: レッドバレリアン **英名**: Red valerian

マツムシソウ目 多年草 **原産地**: ヨーロッパ

花言葉: 親切、真実の愛情 **花の色**: 赤、白、ピンク



← 写真 セントランサス

撮影日: 2008年5月28日

撮影場所: ボドナントガーデン

(北ウェールズ・イギリス)にて

撮影者: M さん

北ウェールズのコンウェイにあるボドナントガーデンを訪れたとき、広大な

庭園の一角に咲いてました。帰国後、調べてみると、セントランサスでした。

セントランサスはオミナエシ科の植物で、南ヨーロッパに約12種が分布しているようで、主に栽培されるのは、ベニカノコソウの和名を持つセントランサス・ルベル種(*Centranthus ruber*)だそうです。現在では栽培を逸出したものがヨーロッパの他、アメリカなどでも帰化植物として定着しているようで、日本へは明治時代中期に渡来したそうです、

花期になると、伸びた茎の上部から散房花序を出し、小さな花を多数咲かせます。花は花径5mm程度で、花冠は5裂し、付け根には距(キョ)と呼ばれる長い筒が伸びています。小さな花が密生した花序は美しく、初夏の花壇を彩ります。白花は頂部まで咲き進む前に、下部の花が茶色く変色するそうです。

葉は披針形で対生し、茎は株元から多数伸びて半球状にまとまります。草丈50~80cm程度に成長します

< ちょっと一言 >

*ボドナントガーデン

・北ウェールズのコンウェイにある、ナショナルトラストが管理するイギリス式庭園です。キングサリのトンネルに人気があるようです。ロンドンからは遠いので、近くに宿泊してウェールズ北部の観光地とあわせて訪問するのが一般的のようです。

*キングサリ

学名：Laburnum anagyroides(マメ科 キングサリ属)

和名：キングサリ(金鎖)



キングサリのトンネル

撮影日：2008年5月28日

撮影場所：ボドナントガーデンにて

撮影者：M さん